令和５年５月現地情報

糸魚川駐在

～漁協青年部がお魚教室開催～

５月９日に能生漁港で、上越漁協能生支所青年部主催による「少年少女ＯＨ！さかな教室」が開催されました。これは恒例行事として定着していますが、能生支所青年部を中心に筒石支所青年部の協力を得て、体験乗船やロープワーク、タッチプールやビデオ学習など盛りだくさんの内容で今年も行われました。参加した能生・筒石地区の５小学校の５年生60人は、歓声をあげながら漁業者と、また他校生徒との交流も楽しんでいたようです。参加された先生からは当地域への基幹産業である漁業について、この「おさかな教室」通じて接することで郷土愛を育んでもらいたいとの嬉しい感想も聞かれました。

当月開催された能生地区の青年部の活動ですが、今後もいくつかイベントを控えています。青年部が主催するどのイベントも地域の方々との交流を通じ、漁業振興、漁村地域の活性化が図られている貴重なイベントとなっています。若く、快活な青年部員がこれからも地域の皆さんの期待に応えて積極的な活動をされることを期待しています。

タッチプール

漁具の構造を学ぶ子供たち

令和５年５月現地情報

新潟駐在

～出雲崎大漁さかなまつりが４年ぶりに開催～

５月３日に４年ぶりの出雲崎大漁さかなまつりが開催されました。新型コロナウイルス感染症の影響で中止していたこともあり、待ち望んでいた多くの人々が開始前から長蛇の列をつくり、会場は大いに盛り上がっていました。

会場では、漁港で水揚げされたかにやえびを使用した鍋の販売も行われていましたが、開始後わずか１時間も経たないうちには完売し、急遽追加分を新たに作る場面も見られました。

そして、素人せり市では、来場者の方々が魚介類のセリに参加し、一生懸命競り落としていました。また、新鮮な魚が格安で販売された鮮魚販売ブースでは、開始からわずか 30 分ほどで完売となり、かなりの賑わいを見せていました。

その他、サザエつかみ取りやタッチプールでは、普段接することのない魚介類とふれあった子供たちの笑顔があふれ、楽しむ様子がうかがえました。

４年ぶりの開催でありながら、多くの人々が訪れ、賑わいにあふれるイベントとなりました。次回の開催が待ち遠しいです。

開始時の長蛇の列

素人セリ市の様子

令和５年５月現地情報

村上駐在

～逸品！ノドグロのはえ縄漁～

５月吉日、新潟漁協山北支所管内の桑川漁港で、ノドグロはえ縄漁の出荷作業にお邪魔しました。山北支所に所属するノドグロのはえ縄漁師はこの方一人のみです。この漁法は、地形や潮の流れをよんで縄を仕掛ける長年の経験と技術が必要なため、なかなか担い手が育たなかったそうです。ただ、はえ縄で釣れるノドグロは大型で見た目も美しく、まさに高級魚ノドグロの中でも誰もが認める逸品です。船上でも、鮮度管理に細心の注意が払われています。

その日は、大きくてピカピカのノドグロが十尾ほど水揚げされました。船頭さんからは、まだ漁の最盛期ではなく数は多くないとのお話でしたが、十分見応えのある水揚げ風景でした。ノドグロは計量後、産地と船名の入ったタグが付けられて山北支所の市場に出荷されていきます。はえ縄漁は桑川漁港と岩船港で７，８月が最盛期となります。最高級のノドグロをいつか食べてみたいと夢見ながら、豊漁を期待したいと思います。

船上から水揚げ

当日最大 1.4 ㎏のノドグロ

令和５年５月現地情報

佐渡駐在

～漁業士会販売イベントの実施～

５月３日、佐和田セントラルタウン内の喜右ェ門さんで３年ぶりとなる漁業士会の鮮魚販売イベントが開催されました。

このイベントは佐渡漁業士会が主催する取組で、島内の魚市場が休みとなる連休初日に鮮魚を出荷し、観光客や島内の方に向けて佐渡の水産物をアピールすることを目的としております。

当日はマダイやヒラメ、ウスメバルやベニズワイガニなどの様々な魚介類が店頭に並び、開店前から人だかりができるほどの盛況ぶりでした。久しぶりの対面での販売ということもあり、嬉しそうにお客さんとのコミュニケーションをとる漁業士の姿が印象的でした。

今後も引き続きこのような取り組みを支援し、佐渡の水産物の消費拡大と知名度向上を図っていきたいと考えております。

現地参加した漁業士

魚の説明をする漁業士

漁業士が作成したポスター